

平成 23 年度受賞活動の現在(2014 年)の状況

<p style="text-align: center;">平成23年度 経済産業大臣賞 「事業所・地方公共団体等」分野 の継続状況</p>	受賞者名
	株式会社滝の湯ホテル（ほほえみの宿滝の湯）
	所在地
	山形県天童市
	受賞テーマ
	「人と地球にやさしい宿づくりにおける環境保全活動」
<p>1. 活動継続 あり</p> <p>から の各事業について継続活動している。</p> <p>食品リサイクル事業：社内の食品残さについて、業務用コンポスト機で生ごみ処理し、自家農場内で堆肥作りを行い、作物を栽培。収穫した野菜はお客様に提供している。</p> <p>割り箸リサイクル事業：使用済みの竹箸を自家炭窯にて炭化し、その過程でできる竹酢液を自家農場に散布し、防虫・無農薬化・土壌殺菌を行っている。また、炭自体も堆肥として利用されている。現在はエコ箸を利用している為、婚礼時の箸以外は自家農園に自生する竹を使用している。</p> <p>紙のリサイクル事業：紙質により4種類に分類後、業者が回収しリサイクルを行っている。</p> <p>一般ごみリサイクル事業：客室等からでるゴミ（缶、ビン、ペットボトル等）を分別し業者が回収しリサイクルを行っている。</p> <p>廃食油エステル化事業：調理場から出る廃食油を精製機でエステル化し、BDFを精製。ボイラーやディーゼル車の燃料として月約750ℓを精製している。</p> <p>水質保全事業：平成11年より化学合成洗剤を石鹼洗剤に切り替えた。食器洗浄や館内清掃は廃食油を原料とした粉末洗剤や環境に優しい製品作りに取り組んでいるメーカーの石鹼洗剤を採用し、大浴場などのシャンプー等も人体や環境に影響を及ぼすものが入っていない石鹼素材のものを設置している。</p> <p>平成21年度のリサイクル率：72.95%（リサイクル量112,014kg / 廃棄物総量153,554kg）</p> <p>企業の森づくり事業：平成15年11月より天童市内企業（滝の湯ホテル、東北パイオニア、新東京ジオシステム、天童木工）4社にて、天童市貫津の杉林13.5haを山形県や林業公社とともに整備。年2回、下草刈りや被害木の除去、下枝の切り落とし、間伐、間伐材の利用等を行っている。</p> <p>省エネ機器の導入：改装時などに照明等を省エネ機器に変え、電気量の削減に努める。電球使用個所の多いところは改装時期を待たずに随時切り替えを行っている。</p>	
<p>2. 活動の広がり なし</p>	
<p>3. 活動の進化 あり</p> <p>自然エネルギー事業として、2013年6月に太陽光発電装置を設置した。経営理念の「地域社会への貢献」の取り組みと、CO₂（二酸化炭素）削減し地球環境にやさしくクリーンなエネルギーを得るための事業として取り組んでいる。1年間のCO₂削減量：27.73t - CO₂</p>	
<p>4. 今後の計画</p>	
<p>5. その他</p>	

【H23 年度 表彰概要】

同ホテルは、平成元年より社内の環境に対する問題意識を醸成し、旅館営業における環境影響の調査、環境負荷軽減のための検討を行い、様々な事業に取り組んでいる。

食品リサイクル事業：社内の食品残さについて、業務用コンポスト機で生ごみ処理し、自家農場内で堆肥作りを行い、作物を栽培。収穫した野菜はお客様に提供している。

割り箸リサイクル事業：使用済みの竹箸を自家炭窯にて炭化し、その過程でできる竹酢液を自家農場に散布し、防虫・無農薬化・土壌殺菌を行っている。また、炭自体も堆肥として利用されている。現在はエコ箸を利用している為、婚礼時の箸以外は自家農園に自生する竹を使用している。

紙のリサイクル事業：紙質により4種類に分類後、業者が回収しリサイクルを行っている。

一般ごみリサイクル事業：客室等から出るゴミ（缶、ビン、ペットボトル等）を分別し業者が回収しリサイクルを行っている。

廃食油エステル化事業：調理場から出る廃食油を精製機でエステル化し、BDF を精製。ボイラーやディーゼル車の燃料として月約 750ℓ を精製している。

水質保全事業：平成 11 年より化学合成洗剤を石鹼洗剤に切り替えた。食器洗浄や館内清掃は廃食油を原料とした粉末洗剤や環境に優しい製品作りに取り組んでいるメーカーの石鹼洗剤を採用し、大浴場などのシャンプー等も人体や環境に影響を及ぼすものが入っていない石鹼素材のものを設置している。

平成 21 年度のリサイクル率：72.95%（リサイクル量 112,014 kg / 廃棄物総量 153,554 kg）

企業の森づくり事業：平成 15 年 11 月より天童市内企業（滝の湯ホテル、東北パイオニア、新東京ジオシステム、天童木工）4 社にて、天童市貫津の杉林 13.5ha を山形県や林業公社とともに整備。年 2 回、下草刈りや被害木の除去、下枝の切り落とし、間伐、間伐材の利用等を行っている。

省エネ機器の導入：改装時などに照明等を省エネ機器に変え、電気量の削減に努める。電球使用個所の多いところは改装時期を待たずに随時切り替えを行っている。

